

(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p>令和 5年 4月 20日</p> <p>和歌山市長 様</p> <p>提出者 〒640-8404 住 所 和歌山県和歌山市湊1850番地 氏 名 株式会社堺ニチアス 代表取締役社長 山岸 直太郎 電話番号 073-451-3986</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	株式会社堺ニチアス
事業場の所在地	和歌山県和歌山市湊1850番地
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	21 窯業・土石製品製造業(ロックウール)
②事業の規模	832百万円
③従業員数	34人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	◎別紙「2023年度 産業廃棄物処理工程図」の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

◎別紙「208期 株塚ニチアス組織表」の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	混合廃棄物	木くず	廃プラスチック	
	排出量	5,875.8 t	11.4 t	11.2 t	3.0 t	t
①現状	(これまでに実施した取組) ・ 廃綿のリサイクル (重機による運搬でのリサイクル) ・ 混合廃棄物の内容物からダンボールを分離し、ダンボールだけを有価買取に変更。 ・ パレット補修時に発生する「木くず」の単体排出化 (従来は混合コンテナに投入していたが、「木くず」だけをコンテナで収集運搬・処分できるようにした。これにより混合廃棄物量が大幅に削減できた。)					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	混合廃棄物	木くず	廃プラスチック	
	排出量	6,400.0 t	12.0 t	12.0 t	4.0 t	t
②計画	(今後実施する予定の取組) ・ 廃綿のリサイクル設備の輸送の自動化 (コンベア・空輸等による運搬でのリサイクル) これにより最も比率の高い「ガラス・陶磁器くず」の外部排出量を600トン削減する。 ・ 定期的に廃棄物巡視を行い、分別の強化継続を推進する。					

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃棄物毎に看板を設置し、分別管理の徹底。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 定期的に廃棄物巡視を行い、分別の強化継続を推進する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	混合廃棄物	木くず	廃プラスチック	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	4083.8 t	0 t	0 t	0 t	t
	（これまでに実施した取組） ・再生原料として再利用					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	混合廃棄物	木くず	廃プラスチック	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	5217.0 t	0 t	0 t	0 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・廃綿のリサイクル設備の輸送の自動化（コンベア・空輸等による運搬でのリサイクル）これにより最も比率の高い「ガラス・陶磁器くず」の外部排出量を600トン削減する。					

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	混合廃棄物	木くず	廃プラスチック	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t
（これまでに実施した取組） 特に無し。						
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	混合廃棄物	木くず	廃プラスチック	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t
（今後実施する予定の取組） 特に無し。						

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	混合廃棄物	木くず	廃プラスチック	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t
	(これまでに実施した取組) 特に無し。					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	混合廃棄物	木くず	廃プラスチック	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特に無し。					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	混合廃棄物	木くず	廃プラスチック	
	全処理委託量	1792.0t	11.4 t	11.2 t	3.0 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	11.4 t	11.2 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・電子マニフェストによる完全運用 ・新規処理委託契約時に於ける処分場現地確認の徹底 ・定期的な処分場現地視察徹底 ・再生原料化設備導入 					

②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	混合廃棄物	木くず	廃プラスチック	
	全処理委託量	1,183.0 t	12.0 t	12.0 t	4.0 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	12.0 t	12.0 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・電子マニフェストによる運用継続 ・定期的な処分場現地確認の実施 ・優良認定処理業者への処理委託 ・廃綿のリサイクル設備の輸送の自動化による外部産廃排出量600トン削減 ・製品パレット補修による再利用の強化					
※事務処理欄						

備考

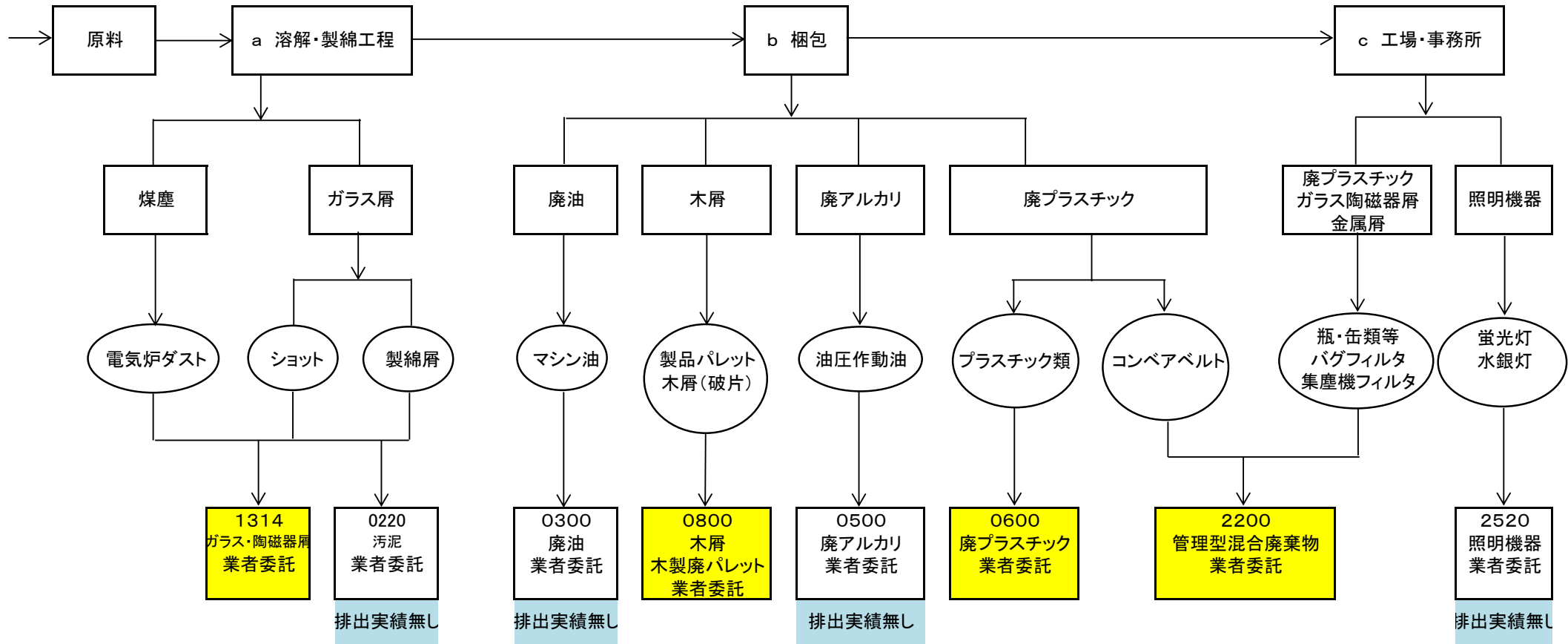
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が6以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

2023年度 産業廃棄物処理工程図

ロックウール粒状綿製造工程

(株)堺ニチアス建材製造部

受入れ



208期

(株)堺ニチアス組織表

2023/4/1現在

(株)堺ニチアス

